

第 1 回 豊中地区学校再編整備地域協議会

日 時	令和 3 年 3 月 12 日 (金) 午後 7 時 00 分～8 時 10 分
場 所	三豊市市民交流センター
出 席 者	【豊中地区学校再編整備地域協議会委員】 委員 35 名中の 33 名
	【教育委員会事務局関係職員】 三好教育長 西川教育部長 教育総務課 内田課長、松岡課長補佐、三崎主任、林副主任 学校教育課 山下課長
欠 席 者	2 名
傍 聴 者	0 名
会議次第	開 会 1 あいさつ 2 委員及び事務局職員紹介 3 豊中地区学校再編に向けた協議について 4 その他 (1)今後の地域協議会の開催予定について (2)委員の変更について (3)その他 閉 会
会 議 概 要	
開 会	
司会	<p>みなさん、こんばんは。</p> <p>今日は昼間お仕事でお疲れのところ、また夜分にお集まりいただきまして、ありがとうございます。また、本日の地域協議会の設立につきまして、ご協力いただいたことにお礼を申し上げますとともに、本日委員としてご出席いただきましてことに、お礼を申し上げます。</p> <p>本日の地域協議会は、豊中地域の統合について協議をする場となっております。この会で統合について方向性を決め、次のステップに繋げる場と考えております。</p> <p>それでは、ご案内の時刻が参りましたので、ただいまから豊中地区学校再編整備地域協議会を開会させていただきます。</p> <p>始めに、教育長からご挨拶を申し上げます。</p>
1 あいさつ	
教育長	<p>みなさん、こんばんは。夜分お疲れのところ、足元の悪い中、また、コロナ禍という状況にもかかわらずお集まりいただきましてありがとうございます。</p>

	<p>最初に、本会は昨年3月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、皆さまにご協力いただき、対策をいたしまして、本日ようやく開催することができました。ありがとうございます。</p> <p>豊中地区の学校再編整備については、1年半くらい前になりますが、地域の方々、また保護者の皆様を対象に説明会を開催し、地域の声を聞きながら、回を重ね、本日、地域協議会を開催できましたことに感謝申し上げます。</p> <p>今日は、第1回ということで、豊中地区の学校再編について本日お越しの皆様と協議を行い、豊中地区の子どもたちの将来を考え、話を進めていくことができればと思っています。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
2 委員及び事務局職員紹介	
司会	<p>それでは、会次第2、委員及び事務局職員紹介に移ります。</p> <p>本日お越しの皆様が一堂に会するのは初めてであり、事務局側も昨年から変わっていますので、まずは事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>(自己紹介)三好教育長、西川教育部長、内田教育総務課長、山下学校教育課長、事務局(松岡、三崎、林)</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>次に委員の皆様の紹介ですが、本来であれば皆さまからひとつずついただくところですが、人数が多いため、お手元の名簿にて各自ご確認いただきたいと思います。</p> <p>なお、これまで他の地区における地域協議会では、会の終了後に会議録を作成し公開しておりましたので、本地域協議会についても同様に会議録を作成し、公開します。会議録は発言された委員さんが特定されないように作成いたしますので、ご承知おきください。</p>
3 豊中地区学校再編整備地域協議会について	
司会	<p>それでは次に、次第3、豊中地区学校再編に向けた協議について説明いたします。</p>
事務局	<p>教育総務課の林です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>私の方から、豊中地区学校再編に向けた協議ということで、これまでの経緯についてご説明いたします。</p> <p>豊中地区の皆様へは、令和元年9月から令和2年2月にかけて、各自治会長会、各小学校PTA、各分館長へ説明会を3回、5地区の自治会長と小学生以下のお子様を持つ保護者への説明会とアンケートの実施、全地区を対象とした住民説明会を2回、また、リーフレットの全戸配布を行ってまいりました。昨年2月の説明会において、「統合の可否については地域協議会を立ち上げ</p>

て検討する」ということに対してご理解をいただき、そして、保護者の方や地域の代表の方から委員を選出していただき、本日お集まりいただきありがとうございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お送りした資料について、これまでの説明会の中で説明しており内容もご理解いただいている方もいらっしゃるかと思いますが、説明から少し間が空いていること、また、初めて聞かれる方もいらっしゃるかと思いますので、簡単に説明したいと思います。

資料1「学校再編整備(豊中地区)について」をご覧ください。

これまでの経緯として、令和元年(昨年)9月30日から説明会を開催し、10月に5地区の自治会長及び小学生以下のお子様を持つ保護者の方へ説明会を行いました。

12月には、それまでの説明会の状況について報告を行いました。昨年1月には小学生以下のお子様を持つ保護者の方へアンケートを実施し、結果について説明会にて報告をしております。

昨年2月に全地区対象の説明会を2回開催し、地域協議会の立ち上げについてご理解をいただき、委員について各団体から推薦をいただいております。昨年3月に、地域協議会を開催するため委員の皆様へ案内状をお送りしましたが、新型コロナウイルスの影響により、延期しております。また、今年度においては、11月に委員の変更の有無について確認させていただき、本年1月末にお手元の資料を送付させていただきました。以上がこれまでの経緯となります。

つづいて、裏面をご覧ください。

昨年2月の住民説明会でいただいたご意見の一部を記載しています。内容については各自ご覧いただいていることと思いますが、どのような学校になるのか、といったご意見が多くありました。

その下のスケジュールについては、昨年の説明では、新設校の開校を令和7年度としておりましたが、新型コロナウイルスの影響により地域協議会が開催できなかったこともあり、スケジュールを1年ずらし、開校を令和8年度としております。

次に、資料2「三豊市立学校の現状」(ホッチキス止めの資料)をご覧ください。

主に小学校の内容についてご説明いたします。

ページ番号はありませんが、1枚めくっていただき、三豊市学校の現状と目標の表の下、これまでの小学校の統合についてですが、

平成26年4月に箱浦小学校を詫間小学校に統合

平成 28 年 4 月に山本地区 4 校が山本小学校に、また、財田地区 2 校が財田小学校に新設統合しております。

平成 31 年 4 月に大浜小学校が詫間小学校に統合 となっております。

次のページについては、三豊市の目指す適正規模、適正配置ということで、小学校では 12 学級以上 18 学級以下、1 学年 2 学級以上、6 学年 12 学級以上、おおむね 4km 以内としております。

学級数については学校教育法施行規則(41 条)に基づく標準の学級数であり、おおむね 4km 以内というのは文部科学省が通学距離の基準として示されている考え方です。

次のページをご覧ください。

小学校の適正規模として、黒色の四角(◆)の 3 つ目ですが、香川県教育委員会が策定した「小中学校の望ましい学校規模について」の指針では、小学校は 12 学級以上、中学校は 9 学級以上が望ましいとされています。

次のページの「三豊市の学校規模の現状」では、小学校と中学校の規模を表で表しています。

小学校 19 校のうち豊中地区には 5 小学校がございますが、各学校とも 1 学年 1 クラス編成であるため、規模としては小規模の学校という位置づけにあります。

次のページ、豊中の 5 小学校の現状でございます。

各小学校とも校舎は築 40 年を迎えており、ほぼ同時期に建設された建物となっています。これまで建物の外壁改修工事や屋上防水工事など修繕を行ってまいりましたが、これから先で老朽化施設になった場合に、一斉に建て替えが必要になってくることも考えられます。

次のページは、5 小学校の児童数の推計です。この人数は、過去の人口の傾向から算出された将来推計人口です。

平成 18 年に 644 人でしたが、今年は 562 人となっております。14 年間で約 80 人減少しています。今後の推計としては、令和 7 年に 542 人となる予測であり、令和 15 年には 451 人という推計が出ています。

次のページをご覧ください。三豊市の学校適正規模としては、次のページになりますが、小学校で 12 学級から 18 学級の学校規模を目指す考えです。学校では、子どもたちの学力・心・体を育むとともに、学校という集団の中で互いに学びあい、認め合い、協力し合い、時には競い合い、社会性や協調性を養う場所と考えています。近年、学校の子どもの人数も減少傾向にある

ため、必要な集団としての学校の規模について適正規模を示しております。前のページで、令和7年で542人になる推計がありましたが、1学級(クラス)を30人とした場合に、単純に542人を30で割れば約18学級になります。資料1のスケジュールでの令和8年に新設小学校が開校されるときに、概ね本市が目指す学校規模になる、ということになります。

次のページは、再編整備の進め方として、平成23年に策定された基本方針の内容となります。

次のページの表は再編整備の具体的方策として、平成23年3月の答申の内容ですが、豊中地区では、現在の第2期において統合協議を開始して、第3期の令和8年までに5校を統合するという計画の表です。現在、この答申に基づいて協議をしているところです。

次のページについては、本日、地域協議会を立ち上げていますので、説明を省略します。

次のページは、この地域協議会で統合に向けて動き出した場合ということになりますが、この協議会と別に、統合準備会として各部会を設立します。統合準備会は、地域協議会委員の皆さんに学校関係者を加えたメンバーが各部会に分かれて、より具体的な内容について協議を行う場となります。

次のページは、令和8年度の開校に向けたスケジュール(案)です。資料1のところで申し上げましたが、新型コロナウイルスの影響により、これまで地域協議会が開催できなかったため、スケジュールを1年ずらし、開校を令和8年度とした場合の大まかなスケジュールとなっています。新たに校舎を建設する場合は、令和6年度に建設を始める予定となります。

次に資料3をご覧ください。
昨年1月に小学生以下のお子様を持つ保護者を対象に行ったアンケート調査の結果です。

問3で小学校の統合についての考えを聞いています。
統合すべき、また、統合もやむを得ないと答えた保護者が57%、統合しない方がよいと答えたのが15%という結果となっています。
また、どちらともいえないと答えた方の中にやむを得ないと考える方も少しいらっしゃるようですので、理由はそれぞれ書いていますので省略しますが、全体として、小学生以下のお子様を持つ保護者の方は統合にご理解を得ていると考えています。

	<p>次に資料4をご覧ください。</p> <p>昨年2月に広報誌と一緒に全戸配布したチラシです。</p> <p>裏面の表の次に、将来像としてめざす学校の姿を書いています。</p> <p>適正な規模による教育環境の充実、として星マーク(★)をつけて記載しています。現状の1学年1学級から1学年複数学級になることで、新たな人間関係や競争意識の醸成が図れること、また、外国語教育など新たな学習専門員が配置され学習環境が充実することが期待されている、といった内容となります。</p> <p>資料の説明は以上になりますが、教育委員会としては豊中地区の子どもたちの将来を考え、適正な集団規模の学校で子どもたちを育てていくことで、同世代の多様な考えに触れ、子ども同士でともに喜び、ともに認め合い、ともに協力しながら「生きる力」を身につけていくことができる環境を整えていきたいと考えています。</p> <p>説明は以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございました。私から少し補足をさせていただきたいと思えます。</p> <p>これまで小学校は地域コミュニティの核であり、統合により学校との関わりが薄れていき、活動が減っていくというご意見もあろうかと思えます。ただ、そのような意識があれば、そうならないように地域協議会の中で協議を重ね、新たな可能性を模索し、地域コミュニティをどうすればよいか考えていくことに、地域協議会はいいい機会になると考えています。</p> <p>学校の統合を機に地域コミュニティのあり方をこの地域協議会の中で皆さんと共に考えることで、ますます地域が活性化することができるのではないかと考えています。</p> <p>小学校の統合という子どもたちへの教育環境の整備は最優先される課題であるとともに、地域にとっても大きな変化であると思っています。皆さんの中には、統合することで、本当に子どもたちのためになっているのか、学校がなくなったら地域はどうなるのか、など各々が何かしら不安を持っていると思っています。</p> <p>難しい問題や解決しなければならない課題もたくさんあると思いますが、本日お集まりの皆さんと共に1つ1つ解決していき、小学校の統合を機会に地域コミュニティについて考え、子どもたちや地域にとって良いものにしていきたいと存じます。</p>

	<p>本日の地域協議会は、豊中地域の統合について協議をする場となっております。この会で統合について方向性を決め、次のステップに繋げる場と考えていますので、皆さんのご意見をお聞かせください。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>疑問に思うことですが、小規模校がダメだということで統合することになったと思いますが、小規模校は本当に学力が伸びていないのでしょうか。適正規模の学校と小規模校に差があるのでしょうか。それは検証していますか。</p>
山下課長	<p>平成20年から上高野小学校で校長として3年間お世話になりました。最後の2年で母校の辻小学校の閉校と、統合した山本小学校に関わらせていただきました。ご質問の小規模校がダメということについて、小規模校がダメだから規模を大きくしようというのではないと思っています。辻小110人から山本小340人になったが、いいところもあり悪いところも見てきました。4校それぞれに不登校傾向の子どもがいたが、統合後はみんな元気に登校しました。また、小規模校で持っていた自分の立ち位置を、統合を機に改めるという子どももいました。悪さをしていた子どもも、同学年の様々な価値観に触れて伸びていったことを実感しています。複数クラスになることで、これまで経験できなかったクラスマッチができ、勝ち負けの経験をしました。統合後のアンケートでは、多くの子どもがよかったと答えています。学校の規模はどちらがいいのか結論は出ないと思います。義務教育は10年20年後の素地を養うものであるため、何をもってよくなったかというのは言いにくいです。子どもの姿が見えなくなって寂しいとかはよく聞きましたが、実際はそうではなく、大人たちが子どもたちのために色々な面で心配されているが、子どもたちはよかったということなので、結論は子どもが決めるものなのかなと思います。智徳体のうち、智はあこがれの同級生と切磋琢磨することができ、徳については固定化されていた人間関係が、新たな価値観を持つ子どもと出会って不登校がなくなるなど、選択肢が増えたのではないかと思います。限られた中の友達だけでなく、自分に合う同級生が増えて選択できるようになった、あるいは先生を嫌って暴れていた子どもたちも、先生が多くなることにより選択肢が増えたのではないかと思います。体の部分では、クラスマッチ、地区や県の水泳大会などに限らず、仲間と刺激を受けながら活動していたので、小規模校がダメで大規模校にしたのではなく、大規模校にすることによって、子どもたちの活動の選択肢が広がる、校区が広がることで出会いが増えるなど、そういったところがよかったと思います。心配事は多いのですが、統合という一歩進めたことで、山本小学校はよくなったと思います。</p>
A委員	<p>これまでの話では、人数が少ないから統合するという内容と思っていました。少ないやり方と多いやり方があるのは分かります。</p>
B委員	<p>卒業生の意見はどのくらい聞きましたか。豊中では、幼稚園が統合されて</p>

	<p>います。幼稚園から中学校まで同じメンバーで過ごすことは、多少の転校生があっても、かなりむづごいと思います。そのあたりは、教育委員会はどう思っていますか。</p>
事務局	<p>豊中の卒業生にアンケートは実施していません。</p>
山下課長	<p>山本小学校の場合は、現高校1年生は統合時の6年生でしたが、よかったと言っていました。毎年クラス替えもしています。</p>
事務局	<p>財田地区でアンケートを取りましたが、幼小中と同じメンバーで進級できるのがよかったという意見も一部にはありました。</p>
C委員	<p>子どもに統合はどうと聞いたが、うるさくなるので勉強がしにくくなると言っていたので、そうなのかなと考えました。統合で勉強はよくなるのかなと思っていますが、それ以外に、校区が広がることで比地大から桑山や笠田へ遊びに行くのは危なくなります。幼稚園は親の送迎があり、よかったと思っています。下の子が来年小学生になりますが、比地大小学校の仲間と頑張っていくと言っているので、ずっと同じであれば考えも変わらないと思います。地域のお祭りもあり、繋がりが強いと思うので、そういうのが薄れてしまわないか危惧しています。</p> <p>子どもたちの将来のことまでは分かりませんが、小学校の統合は子どもたちの将来のことと地域の将来のことも左右してくると思います。大人になって地元に戻りたいと思わないような地域では続きません。本山はゆめタウンで子どもの数が伸びている現状もあります。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。そういった考え方をお持ちの方はたくさんいると思います。そういった問題点が分かっているのであれば、地域協議会の中で解決していく方法もあると考えています。小学校が核となって地域コミュニティがあったと聞くので、もし統合するということになると、小学校が変わることになります。その時に、跡地をどう活用していくのか、そういったことを地域協議会の中で皆さんで意見を出し合って考えていくというのも、地域コミュニティの新たな在り方を考えていくことになるのではないかと考えています。</p>
D委員	<p>色々なご意見が出ていますが、方向性としては統合の方向で行くという大前提で話をしていますよね。そのあたりで、必ずしも前向きでない意見にも聞こえます。私自身は統合の方向で行くと思っていましたが、そのあたりはこの場ではっきりしないと前に進まないのではないかと思います。私は教員出身で個人的な意見としては、小規模校と大規模校については、一言でいうと一長一短である、どういう教育をするのかという中身が大事であるので、規模の大きさの議論はいつまでたっても終わらないと思います。子どもによっても変わるし、先生の教え方でも変わるし、学校の運営方法によっても変わります。学校の規模に合わせた教育をすることが大事であるので、協議会で前向きに進めていただきたいと思います。一長一短は大事なことだが、きりがないことでもありますので。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。この会の主旨は、これまで地域で説明会をしてきた中で、学校の統合については地域協議会を立ち上げて、その中で決めていく流れであったと思います。本日お集まりの皆さんで統合に向けてどうするのか、その方向性を決定していただきたいと思っています。</p>
E委員	<p>この協議会の役割をきちんとした方がいいと思う。協議会で物事を決定するという話が今ありましたが、決定は教育委員会ですと思っています。前回このような会をしたときに、PTA 会長から、私が代表して決定するのは荷が重いという話も聞いています。地域協議会で決定したことを教育委員会に報告して決定ということになるのか、教育委員会として協議会で統合の話をしてほしいということになるのか、そのあたりをはっきりした方がいいと思います。</p>
事務局	<p>今の質問ですが、本日の資料に規約があり、第2条に学校再編整備に関することとあります。この再編整備に関することには統合に向けて進めていくということも含まれていると考えているため、この地域協議会の中でどうするのかを決めて方向性を出していただいて進めていきたいと考えています。</p>
西川部長	<p>補足でご説明します。山本と財田の統合の時もそうでしたが、学校の統合は地域との結びつきが深く、保護者の心配も多いということで、あくまでも保護者や地域のご理解のもと進めていくことを前提として進めています。豊中地区においても、この協議会でいただいた意見、具体的にいつする、どういう形ですという根幹も含めてご意見をいただき、その意見を最大限協議して最終的に教育委員会が決めます。予算が伴う場合は担当部局にお願いしていく流れですので、この協議会は重要で、重いと言われるかもしれませんが、地域と保護者の皆さんのご意見を伺いながら進めていきたいと考えています。</p>
E委員	<p>そういうことで進めていただきたいと思います。統合を進めるうえで、いいところと悪いところがあるかと思うので、いいところだけ出して統合するのではなく、困ったところも出していただいて、地域の方と話をして進めてもらえたらと思います。</p>
D委員	<p>この協議会の意見を最大限尊重して、最終的には教育委員会で決定ということだったと思うので、私の明確な意見を述べさせていただきます。私はこの流れからいくと統合やむなしで、統合の方向に行ったらいいと思います。ただ、条件というか、大事にしてほしいのは、子どもの教育は一長一短と言いましたが、子どもにとってははっきりした欠点は通学です。通学の問題に関しては最大限尊重して、子どもが通学について大きな不便を感じないような協議をして、教育委員会は色々な面で支援していただきたいと思います。これが大前提で、もう1点は地域コミュニティです。これは明らかにマイナスです。地域コミュニティで活動していたものが、小学校がなくなると先生やPTAの役員さんのマンパワーがなくなるので、そうなる活動ができるのか、今後、小学校がなくなったときに地域コミュニティをどう残して生</p>

	<p>かしていくのか、みんなで考えていく必要があります。考えるときに教育委員会の支援をいただきたいです。そういうことを踏まえたうえで、統合に向けて積極的に議論してはどうでしょうか。</p>
西川部長	<p>まず、通学のご心配については、繊細な部分と考えています。山本、財田においても一定の距離以上は通学支援をしていますし、ハード面についても、安全施設として歩道をつける等、すべてのことまでお約束はできませんが、できる限りの整備をしていきたいと考えています。そういった意味でもお時間をいただき、早めに通学のありかた等ご意見をいただき、十分に検討していきたいと思います。地域コミュニティへの心配については、山本、財田でも意見が多かったです。豊中地区においても分館を中心として活動されていますので、統合後の活動やお祭などコミュニティへの影響も含めて、どういうふうにあるべきか、十分検討して行ってほしいと思います。市は後方側面支援をさせていただきます。よろしく申し上げます。</p>
D委員	<p>側面支援の中身を具体的に十分検討していただきたいです。側面支援は、具体的に財政的なものもあると思います。それを踏まえて考えていただきたいです。</p>
西川部長	<p>おっしゃるとおりで、財政負担も出てくると思うので、できる範囲の支援をしていきます。</p>
山下課長	<p>通学面について、山本ではバスの送迎となりました。最初、地域の方はバスに乗らないと損をするという考えがあり、乗せてほしいという話になりました。現実として、バス通学の子どもたちはバスの時間があるため、放課後学校に残れなくなる。バス通学の子どもたちは、みちくさがしてみたいと言っていた。友達と歩きながら帰る楽しさを奪われているように思えます。安全面はあるが、子どもたちの声は違っていました。歩く場合、時速4キロで季節を感じながら6年間通った子どもと、バス通で6年間通った子どもは違うと思います。大野原小の統合のときも、みちくさがしてみたいという意見が多くありました。そういうこともあるので、様々な方向から考えていただければと思います。</p>
F委員	<p>会の進め方について、できるだけ多くの方から意見をいただくのもこの会の目的ではないでしょうか。ただ、なかなか皆さんから意見がでない状況にあります。なぜ出ないのか、これについて、どう思っていますか。</p>
西川部長	<p>色々な立場でお越しいただいています。昨年の協議の中で出された意見をもってお越しいただいていると思っています。</p>
F委員	<p>案内状の書き方について、内容をもう少し具体的に書いてほしいです。今後の内容については、受取って分かりやすいものにしてください。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。以後、そのように進めさせていただきます。</p>
G委員	<p>通学の面は分かりましたが、地域コミュニティの面について、統合した場合の残された学校の使い方とかお聞きしたいです。比地大は夏祭りで花火大会をしていますが、それができなくなるのではないかという意見もあるので、</p>

	跡地の使い方はどうされているのでしょうか。
事務局	山本、財田の統合準備会では跡地利用部会はなく、別の話として始まっています。平成28年4月統合でしたが、前年に跡地の話がでています。なぜもっと早く跡地の話をしないのか、まだ閉校になっていないのに跡地の話をするのか等さまざまな意見をいただきました。大浜校区のときには統合と同時に地域の方と考えるため、跡地利用部会を統合準備会の中に入れていました。山本幼稚園の統合の際も準備会の中に跡地利用部会があったので、今回も案でお示ししているのですが、地域の方からご意見をいただいて進めるものと考えています。跡地利用については、それぞれの担当課も同席して、一緒に考えていく場が必要で、それが跡地利用部会だと考えています。
G委員	跡地利用の具体例は教えていただけますか。東かがわ市の小学校跡地に、中国の何かの施設を作るという計画があり、それを阻止するために署名活動がされている事例があります。何かわからない施設が自分の地域に来るとするのは恐怖なことです。お聞きしたいです。
事務局	山本地区では、まずは地域で使ってくれますかと問いかけたが、維持管理費がかかるため難しく、次に企業等に借りてもらうために募集をしました。辻小学校はNPO法人が借りて通所施設として利用しています。河内小学校は地元の方が株式会社を設立し、イベント等で貸出すという運営をしています。大野小学校は幼稚園を建設しました。神田小学校は地元企業が利用しています。財田上小学校では運動場にいちご園、校舎に木工おもちゃの会社の工房として利用しています。大浜については、地域が幼稚園を利用したい意向がありましたが、維持管理費がかかるため難しく、小学校は大きいため、市で考えています。箱浦小学校は、最初は野菜を作っていたが、今はキクラゲを作る会社が入っています。
事務局	ご意見もないようなので、皆さんにお諮りいたします。 この地域協議会で豊中地区5小学校について、統合に向けて協議を開始することに関して、ご異議はありませんか。
委員	(異議なし)
事務局	特にないようですので、本協議会として、豊中地区の5小学校は統合に向けて協議を開始することによって決めさせていただきます。よろしくお願いいたします。今後とも委員の皆様のご協力、また、地域の方々のご協力をいただきながら、子どもたちの将来を考えた学校再編をすすめていきたいと思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。
4 その他	
司会	続きます、会次第4その他、に移ります。 (1)今後の地域協議会の開催についてでございますが、次回の開催は4月か5月ごろを予定しています。決まりましたら、ご案内させていただきます。次回の協議内容としては、①正副会長の選任、②統合準備会の立ち上げの準備をしていきたいと考えています。

	<p>正副会長の選任につきましては、お手元にお配りしてあります地域協議会規約第4条に、正副会長は委員の互選により決めることとされています。どのように決めるのかについて、皆さまのご意見を伺いたいと考えています。</p> <p>1 ご推薦をいただく方法</p> <p>2 選考委員会を設置して、そこで決める方法</p> <p>決める方法についてご意見はございませんか。</p>
C委員	<p>確認ですが、ご異議はありませんかということで、意味も分からず何も言っていないが、意見はないですということで統合が決定になるのですか。また、問題が解消されなければ統合が先延ばしになるということなのですか。また、跡地をどうするか通学をどうするか、情報が少ないので、いろいろなところから集めていい案を出していかなければいけないと思います。このまま進めてもいいかどうか不安でした。</p>
事務局	<p>この協議会では統合に向けて進めていくということです。通学や跡地利用であるとかについては、長い時間がかかるものと考えています。そこは統合準備会の中で、通学に関することは通学部会、跡地をどうするかは跡地利用部会の中でより具体的に細かく決めていこうということになります。</p>
C委員	<p>一つ一つの会は同じ委員なのですか。人数が少ないと情報が集まってこないのです。</p>
事務局	<p>このメンバーの中から選出して部会を行います。事務局から必要な情報を出していきたいと思っています。部会の中で方向性を決めて、この地域協議会で協議して、ひとつずつ決めていくようになります。</p>
H委員	<p>先ほどこの協議会で統合に向けて協議していくことが決定しましたが、住民説明会で色々な意見が出ておりました。メリットやデメリット等あったが、ここでまとめないで部会で話すのではなく、一旦まとめて各部会で解消に向けていくように進めていく方がいいと思います。そうしないと、この協議会の意義が薄れます。よい事例をリストアップした方が部会がスムーズにいくのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>住民説明会の中で出た意見については、今後、統合準備会の中で解決していくにはどうするかを考えてもらうべきものであると考えています。部会の中で意見を出して、解決したものを地域協議会に出していくことを考えています。</p>
事務局	<p>正副会長の互選について、この場で決めるのは難しいので、事務局で案を出して了解をいただくことでよろしいでしょうか。第2回の地域協議会で詳しく説明をいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、(2)委員の変更については、年度末なので変わる方もいらっしゃるかと思います。事務局としては、長く協議会に携わっていただきたいと思っておりますが、もし変更の予定がある場合は、お帰りの際に事務局までお申し出ください。</p>

	<p>(3) その他、については、他に事務局からは特にごきません、委員の皆さまで何かございますか。</p>
1 委員	<p>お願いですが、豊中町の小学校の位置図について、人が住んでいる所ほどの範囲か、分かるようなものがあればいいかなと思います。それと、データの中で Y 軸の数字が途中からのグラフになっているので、0 からのグラフであれば見え方も違ってくるのではないかなと思います。作為が疑われるような、誤解を招くようなデータの出し方は避けていただけた方がいいかなと思います。メリットとデメリットを出すときも、割愛せずに出してもらいたいです。1 つのデメリットでも考えるべきこともあると思うので、よろしく願います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。地図等の資料はご意見があればそのように作っていきたいと思います。グラフは、少しでも見やすいように作ったものですので、意図的なものはありません。0 からのグラフということであれば、今後ともそのように作ってお示ししてまいります。ありがとうございました。</p>
司会	<p>以上を持ちまして、第 1 回豊中地区学校再編整備地域協議会を終了いたします。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p> <p>今後ともよろしく願います。</p>